

令和5年度 シラバス

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科
設備一般	2単位	2	選択	設備工業科

1. 科目「衛生・防災設備」について

学習の到達目標	<p>工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して空気調和及び衛生防災に関わる設備の設計・施工に必要な資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 空気調和及び衛生防災に関わる設備について、空気調和設備の施工や防災設備について理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 空気調和及び衛生防災に関わる設備に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。</p> <p>(3) 空気調和及び衛生防災に関わる設備による生活環境の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
使用教科書	衛生・防災設備 空気調和設備 (文部科学省)

2. 科目全体の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<p>空気調和に関わる施工法及び防災設備の特性や省エネルギー技術とも関連付けて理解するとともに、空気調和施工、防災設備における様々な状況に対応できる技術を身に付けている。</p>	<p>空気調和設備及び防災設備に関する課題を見だし、単に生産性や効率だけを優先するのではなく、空気調和設備及び防災設備が社会に与える影響に責任をもち、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。</p>	<p>空気調和に関わる設備や防災設備による生活環境の向上を目指し、先端的な機器や施工法の発達、省エネルギーの手法など空気調和設備の設計・施工、防災設備について自ら学ぶ態度や工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・定期考査 ・単元テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・定期考査 ・単元テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察

3. 評価の方法

評価の割合は、内規によるものとし達成度をもって評定へ総括する。

観点別学習状況の表記区分については、内規によるものとし「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」の3区分を評価規準と設定し、学期ごとではA～Cの3段階で、学年末

においては、1～5の5段階として評価を行う。

4. 年間指導計画表

学期	月	時間	学習内容	学習目標	評価方法
1 学期	4 5 6	18	空気調和設備 第5章空気調和設備の施工 第1節 機器の据え付け 第2節 配管・ダクト工事	・空気調和機器据え付け及び配管ダクト工 事の概要について理解している。	・ワークシート ・単元テスト ・行動観察
	7	8	第5章空気調和設備の施工 第2節 配管・ダクト工事	・配管・ダクト工事の施工方法についての 特徴や注意点を理解できる。	
1学期の評価方法				定期考査、観点別評価を数値化し評価する。	
2 学期	9	8	第5章空気調和設備の施工 第2節 配管・ダクト工事	・配管・ダクト工事の施工方法について、設 備諸法令を踏まえて理解し、知識や技術を活 用することができる。	・ワークシート ・単元テスト ・行動観察
	10 11	16	第3節 保温・保冷工事 第4節 塗装工事 第5節 試運転・検査・引 き渡し	・空気調和設備の保温工事、塗装工事及び試 運転等について工事概要、省エネルギーを踏 まえて理解するとともに、関連する技術を身 に付けている。	
	12	4	衛生防災設備 第4章 防災設備 第1節 消防用設備	・防災設備と消火設備機器の構造、性能及び その用途について知識を習得し理解すると ともに、関連する技術を身に付けている。	
2学期の評価方法				定期考査、観点別評価を数値化し評価する。	
3 学 期	1 2 3	16	第1節 消防用設備 第2節 消火設備と配管機 器の設計	・防災設備と消火設備機器の構造、性能及び その用途について知識を習得し理解すると ともに、関連する技術を身に付けている。	・ワークシート ・単元テスト ・行動観察
	3学期の評価方法				